



教科部通信

2026
10
Vol.16

Topic 01 理科

「正解よりも大切なもの」

勉強をしていると、「これは将来何の役に立つのだろう」と考えることがあります。特に理科は、公式や用語を覚えることが目的のように感じる人もいるかもしれません。しかし、本当に大切なのは知識そのものではなく、物事を根拠をもって考える力です。理科では、観察し、仮説を立て、実験し、結果から結論を導きます。この過程は、実は私たちが人生で何度も直面する課題解決の方法そのものです。

これから皆さんが生きる社会は、AIの発展や環境問題、技術革新などによって大きく変化していきます。正解があらかじめ用意されている問題ばかりではありません。そのような時代だからこそ、「なぜそうなるのか」「本当に正しいのか」と考える姿勢が求められます。理科の授業で身に付ける力は、研究者や技術者だけのものではありません。進路を選ぶとき、人と協力して課題を解決するとき、自分の意見を判断するときにも生かされます。

目の前の学習は、単なる受験勉強ではありません。理科を通して培った考える力は、変化の大きな未来を自分らしく切り拓くための大切な武器になります。今学んでいる一つひとつの積み重ねを大切にしてほしいと思います。



理科主任
3年4組担任
木田 拓実

理科主任の木田です。今年度は、矢嶋先生をお迎えし、さらにパワーアップした理科となりました。最近、youtubeでウエルッシュコーギーのショート動画しかお勧めに出てこなくなってきました。私が見たことなさそうな、犬の動画がありましたら教えて下さい。残り少ない1年、楽しんでくださいね。



Topic 02 総合的な探究の時間

2年探究中間発表会を行いました

9月30日（水）の午後、2年生による探究中間発表会を開催しました。生徒たちは各ゼミで取り組んできた探究活動の成果や今後の展望について発表を行いました。

当日は、産業能率大学の教授1名と御殿場市役所企画課の職員3名をお招きしました。また、1年生全員が参観し、2年生も発表ラウンド以外の時間に他ゼミの発表を見学しました。さらに多くの教職員も参観し、会場は活気にあふれた発表会となりました。

発表後には、「高校生ならではの視点やアイデアが多く、とても面白かった」といった感想をいただきました。また、商品開発をテーマとするグループには、「誰に届けたい商品なのかをより明確にすると、提案の説得力が増す」といった助言もいただきました。生徒同士や教員との質疑応答も活発に行われ、多くの意見やアドバイスが交わされました。

生徒たちはさまざまな立場の方から意見をいただくことで、自分たちの探究を見つめ直すよい機会となりました。今回得られた学びを今後の活動に生かし、年度末の最終発表に向けて探究をさらに深めていきます。

